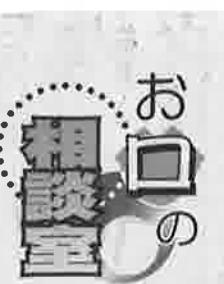


**【問い合わせ】**子どもが1歳6カ月検診の歯科検診で、「上唇小帯（じょうしんじょうたい）の付着異常」と言わされました。どういうことなのでしょうか。今すぐ治療が必要ですか。



いるピンと張ったスジが見えますよね。

付着異常と診断されるのは、このスジが上の前歯の真ん中の歯と歯の間に入り込んでいる場合。歯肉の側

の付着位置が通常よりも下の方にあるという意味で、付着異常と呼ぶのです。

ていくかどうか観察する必要があります。

つて自然に良い歯並びになれることが期待できます。

## 上唇小帯付着異常とは

**治療は永久歯生えるころ**

えることがあります。そして、付着位置は歯や上顎の成長とともに上方へ移動していくものです。従つて1歳6ヶ月では治療の必要はありません。ただ、将来に隙間ができるたりするうであれば小帯を切除されることをお勧めします。多くの場合、外来で局所麻酔を使い、短時間で切除できます。切除することで、その後の歯や顎の成長と相

本つづ磨いてください。  
小帶が太いと、その周囲  
に汚れがたまりやすくなり  
ます。細菌感染の原因にな  
ることもあるので清潔を心  
がけてください。定期的に  
歯科医院で経過を見なが  
ら、歯磨きの方法を教えて  
もらいつついいでしよう。

### 質問をどうぞ

**質問をどうぞ** 歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。